

平成30年度使用

# 教科用図書採択選定資料

小学校用

宮城県教育委員会

# 目 次

1 道 徳 . . . . .	1 ~ 8
① 東京書籍 . . . . .	1
② 学校図書 . . . . .	2
③ 教育出版 . . . . .	3
④ 光村図書 . . . . .	4
⑤ 日本文教出版 . . . . .	5
⑥ 光文書院 . . . . .	6
⑦ 学研教育みらい . . . . .	7
⑧ 廣濟堂あかつき . . . . .	8

発行者の番号・略称及び教科書の記号・番号については「平成29年4月 文部科学省 発行 小学校用 教科書目録（平307年度使用）」による発行者の番号・略称等である。

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳	書 名	あ た ら し い ど う と く 1 新 し い ど う と く 2 新 し い ど う と く 3 新 し い ど う と く 4 新 し い 道 徳 5 新 し い 道 徳 6
			東書		1 3 1 2 3 1 3 3 1 4 3 1 5 3 1 6 3 1		
1 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の目標達成のため、他人とのコミュニケーションを通して、道徳的諸価値について考えることができるよう、児童同士の交流を促す教材が工夫されている。</li> <li>○ 今日の課題である「いじめ」「防災・安全」「情報モラル」について考えることのできる教材が各学年で設定されている。</li> <li>○ 「いじめ」については、どの学年においても直接的教材と間接的教材が掲載されており、児童の実態に合わせて指導ができるように工夫されている。</li> <li>○ 児童の生活に即した内容の読みもの教材が取り上げられており、自分自身のこととして考えられ、学習の充実と発展を図ることができるように配慮されている。</li> <li>○ 感動的な読みもの教材や身近で共感を呼ぶ教材など、幅広い内容が取り上げられており、資料の出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の学習についてのオリエンテーションのページと、まとめごとに自分を振り返るページが設けられ、児童自身が成長に気付くことができるように工夫されている。</li> <li>○ 学習指導要領に示された4つの視点を、児童に分かりやすいように端的に示して学習のねらいが明確になるように工夫されている。</li> <li>○ いじめ問題に対応した教材はユニット形式を取り入れ、とびらのページも含め、重点的な取扱いができるように配慮されている。</li> <li>○ 児童の発達段階に合わせて、1つの学年に取り上げる4つの視点の割合が工夫されている。低学年は「A」に、高学年は「C」についての教材が多くなっている。</li> <li>○ 各学年で重点項目となり得る内容項目の教材を複数配置し、各学校の年間指導計画に適合できるように工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 関 と す 指 導 こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材の最後に中心発問となる設問と、自分との関わりで考えを深められる設問が明示され、自己の生き方について考えを深める学習が進められるように配慮されている。</li> <li>○ 内容項目が児童に分かりやすい表現で示され、学習テーマが明確になっており、見通しをもって学習が進められるように配慮されている。</li> <li>○ 3～6年生には問題解決的な学習ができるような教材を配置し、話合いの手引きを基に学習が進められるように工夫されている。</li> <li>○ 他教科や特別活動との関連が図られており、児童の生活や学習に適合できるように配慮されている。</li> <li>○ 挿絵、写真が効果的に掲載されており、児童が考える際のヒントになったり、自然の美しさや神秘さが感じたりできるように工夫されている。</li> </ul>						
4 表 現 関 と す 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材文は読みやすいよう、児童の発達段階に合わせて文字の大きさや太さが工夫されている。また、言葉のまとまりで改行したり、行数を文字のそばに示したりして、読み間違いがないように配慮されている。</li> <li>○ 図表は見分けのつきやすい色を使用したり、振り仮名も本文とは字体を変えたりするなど、誰もが読みやすいように工夫されている。</li> <li>○ 書き込み欄には罫線が引かれており、児童が書きやすいように配慮されている。</li> <li>○ 文字と挿絵や写真がバランスよく配置され、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっている。</li> <li>○ 軽量で丈夫な再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用しており、環境への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	道 徳	書 名
			学 図		
				1 3 2 1 3 3 2 3 2 2 3 3 3 3 2 3 3 3 4 3 2 4 3 3 5 3 2 5 3 3 6 3 2 6 3 3	かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん よみもの かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん かつどう かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 よみもの かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 かつどう かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 活動 かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 5年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 5年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 6年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 6年 活動
1 内 容 に 関 心 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の目標達成のために、児童自身が課題意識を持ったり道徳的諸価値に迫ったりできるように、用途を明確にした「読みもの」と「活動」との2分冊で構成されている。</li> <li>○ 現代社会を生きるために必要な事柄が学べるよう、「いじめ問題」「情報モラル」「防災・安全教育」「五輪教育」等に関わる教材が掲載されている。</li> <li>○ 児童が興味・関心を持ち、より多様な価値観に触れられるよう、児童の心身の発達段階を考慮した充実した教材が取り入れられている。</li> <li>○ 道徳的価値をより実践的なものにするために、「活動」の中に、今後に生かす態度を養うような発問を取り入れたり、特設ページを設けたりするなどの工夫が見られる。</li> <li>○ 自らの生き方について主体的な探求を促すために、「命」「人」「文化」「夢」との4つのつながりを基に教材が選定されており、出所、出典が明示されている。</li> </ul>				
2 組 織 と す 配 列 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の冒頭にガイダンスのページを配置し、教科書の活用の仕方を示すことで、効果的な学習ができるように配慮されている。</li> <li>○ 教材文を掲載した「読みもの」と、発問や体験的学習を掲載した「活動」の2分冊で構成されており、「考え、議論する道徳」「主体的、対話的で深い学び」への転換を図ることができるように配慮されている。</li> <li>○ 道徳の授業を保障するための十分な教材数で構成されている。また、学習指導要領総則に示されている重点項目については、各学年で複数教材が用意されており、重点的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>○ 各学期で、4つの視点と内容項目を満遍なく学べるように教材が配列されており、2学期制、3学期制どちらにも対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 学校行事や全国的な啓発活動との関連に配慮して教材が配列されている。</li> </ul>				
3 学 習 と す 指 導 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が自ら考え、対話を通して多面的・多角的に考えを深められるように、問題解決的な学習や体験的な学習等、多様な学習活動ができるように配慮されている。</li> <li>○ 発問を見ないで先入観なく教材文の世界に入れたり、学級の状況に合わせて発問を工夫できたりするなど、多様な授業展開が可能になるように工夫されている。</li> <li>○ 「活動」には、発問だけでなく書き込み欄を設けてあり、学びの記録やポートフォリオとして活用でき、児童自身の学びの実感を深められるように配慮されている。</li> <li>○ 「活動」の中に、他教科の学習や総合的な学習の時間等で生かせる様々な言語活動が豊富に盛り込まれており、他教科等との関連に配慮されている。</li> <li>○ 教材に興味を持ったり人物の行動や気持ちに共感したりするために、効果的な挿絵や写真が配置されている。</li> </ul>				
4 表 現 と す 体 裁 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年の発達段階に応じた適切な表記、表現となっており、振り仮名を付けたり、分かち書きや文節改行を導入したりするなど、児童の読みの負担を軽減している。</li> <li>○ 児童に親しみやすい配色やデザインに配慮している。また、内容項目や多様な学び方がマークで示されており、学習内容が一目で分かるように工夫されている。</li> <li>○ 標準的な教科書体を使用し、発達段階に応じた文字の大きさとなっている。</li> <li>○ 分冊となっていることから、目的に応じたゆとりのある紙面構成となっている。また、色彩や印刷は鮮明である。</li> <li>○ 2分冊とも軽量で扱いやすい製本となっている。「読みもの」は、堅ろうであり、「活動」は、書き込みをしやすいように中綴じとし、鉛筆等で書きやすい用紙が採用されている。再生紙、植物油インキを用いるなど、環境への配慮もされている。</li> </ul>				

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳	書 名
			教 出		1 3 4 2 3 4 3 3 4 4 3 4 5 3 4 6 3 4	
1 内 容 関 に す る こ と						小学どうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学どうとく4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と						<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも指導要領に示された4つの視点について、バランスよく取り上げられており、発達段階や題材の系統性に配慮されている。</li> <li>○ 内容項目ごとに複数の教材を並べて配列しており、学習のねらいが明確で内容のまとまりがある。</li> <li>○ 重視したテーマについては、複数の教材を配置し、内容項目を関連的・発展的に捉え、重点的な取扱いができるように配慮されている。</li> <li>○ 1年生は4点、2～6年生は5点の補充教材が準備され、学校の教育活動の実態に合わせた指導ができるように配慮されている。</li> <li>○ 学校行事や地域の伝統行事等に関連する教材は、季節感が感じられる配列になるように配慮されている。</li> </ul>
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と						<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容項目ごとに「導入」が設けられており、学習のねらいを明確に把握させ、問題解決的な学習が展開できるように工夫されている。</li> <li>○ 教材ごとに「学びの手引き」が付いており、道徳的価値の理解から、今後の行動への示唆まで、主体的に価値理解が深められるように設問が工夫されている。</li> <li>○ 多様なアクティビティやモラルスキルトレーニングのページが設けられており、体験的な学習ができるように工夫されている。</li> <li>○ 児童の学校生活に即した題材を取り上げ、学校の年間行事と関連させて指導ができるように配慮されている。</li> <li>○ 挿絵、写真が効果的に掲載されており、児童が考える際のヒントとなるように工夫されている。</li> </ul>
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に						<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文は、分かりやすい表現となっている。児童にとって難解な言葉や必要な情報には「注」を付けて解説するなど、理解しやすいように配慮されている。</li> <li>○ 挿絵の登場人物をフェルトや人形にするなど、児童が親しみを持って教材に関わることができるように工夫されている。</li> <li>○ 活字の大きさや字体は適切で、判別しやすい配色にするなど見やすさに配慮されている。また、挿絵や写真は明るく鮮明である。</li> <li>○ 見開きページには必ず教材の内容を考慮した挿絵や写真が配置され、見やすいように配慮されている。</li> <li>○ 再生紙と植物油インキを使用し、印刷にはグリーン電力を使用しており、環境への影響を少なくするように配慮されている。</li> </ul>

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳	書 名
			光村		1 3 5 2 3 5 3 3 5 4 3 5 5 3 5 6 3 5	
1 内容に 関すること	○ 道徳の目標達成のため「主体的な学び」「対話的な学び」を重視しており、登場人物への自我関与、体験的な学習、問題解決的な学習の指導ができるように工夫されている。 ○ 生命を大切にすると心育成に重点が置かれている。いじめ問題や生命の尊さに関する教材が十分に取り入れられ、児童が命を大切にすると心情を育めるよう配慮されている。 ○ 児童の発達段階を踏まえた系統性が意識され、児童が興味・関心を持ち、多様な価値観に触れられるように配慮されている。 ○ 各学年で、教材とコラムとを組み合わせた「ユニット」を年間5か所（1年生は2か所）に位置付け、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「情報化への対応」「スポーツ等」多様な教材がバランスよく配置されており、出所、出典が明示されている。					どうとく1 きみがいちばんひかるとき どうとく2 きみがいちばんひかるとき どうとく3 きみがいちばんひかるとき どうとく4 きみがいちばんひかるとき 道徳5 きみがいちばんひかるとき 道徳6 きみがいちばんひかるとき
2 組織と配列に 関すること	○ 学校生活の実態と、それに伴う児童の成長を考慮して、1年間を4つのまとまりに分けて重点化を図り、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 教材の学習の手引きには、児童が教材を通して何を学ぶのかを意識できるよう「めあて」が示され、学習のねらいを捉えやすいように配慮されている。 ○ 学年ごとの重点項目については複数教材で扱い、児童の実態に応じて関連的・発展的に学習できるように配慮されている。 ○ 内容項目の数や分量が適切である。また、各学年に35点（1年生のみ34点）の教材が用意され、各学校の年間指導計画に適合しやすいうように配慮されている。 ○ 学習の時期を考慮し、児童の生活に合わせた教材配列になっている。巻末に教材ごとの内容項目と他教科等との関連を一覧にして掲載し、計画的な指導への配慮がなされている。					
3 学習と指導 関すること	○ 問題解決的な学習に適した教材が豊富に取り入れられ、話し合い活動を通して物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができるよう配慮されている。 ○ 日常生活の中で起こりがちな葛藤場面や、決断を求められる場面に焦点を当てた教材が多数用意され、主体的な学習を促す配慮がなされている。 ○ 児童が自己評価を書き込むページが設定され、記述の蓄積により、児童の個性や能力に応じた成長の様子が把握できるように配慮されている。 ○ 「つなげよう」には、教材に関連する図書や人物が紹介され、他教科や日常生活との関連が図れるように工夫されている。 ○ 挿絵、写真が効果的に掲載されている。また、内容を解説するための図表やグラフを必要な箇所に付して、児童の理解を深めることができるよう配慮されている。					
4 表現と体裁等に 関すること	○ 発達段階に応じた表記及び表現が工夫されている。当該学年以上の漢字には全て振り仮名が付けられており、読みの負担を軽減するための配慮がなされている。 ○ 各学年に共通して登場するキャラクター、漫画、写真、イラスト等を活用し、児童が親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ 学年に応じた適切な文字の大きさとなっている。また、ユニバーサルデザインの観点から色合いやレイアウトを工夫し、見やすさへの配慮が見られる。 ○ 挿絵や図表等の配置が適切に考慮されている。全学年で統一したマークの使用や紙面構成により、児童が学習の流れを捉えやすいように配慮されている。 ○ 表紙は耐久性を高める加工を施して折れにくく、製本は堅ろうである。また、軽量化した再生紙や植物油インキを使用し、環境への配慮がなされている。					

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	道 徳	書 名
			日 文		
					しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 2 小学どうとく 生きる力 2 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 4 小学どうとく 生きる力 4 どうとくノート 小学道徳 生きる力 5 小学道徳 生きる力 5 道徳ノート 小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6 道徳ノート
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の目標達成のため「主体的な学び」「豊かな対話と学び合い」「現代的・社会的課題への対応」が重視されている。また分冊として「道徳ノート」が付けられている。</li> <li>○ いじめ問題が最重要テーマに位置付けられている。各学年とも複数の教材を用意し、多面的・多角的な視点から考えられるように工夫、重点化されている。</li> <li>○ 1年生は、幼・保との連携、高学年においては中学校段階との接続を考慮するなど、発達段階を踏まえた系統性が意識されている。</li> <li>○ 教材は精選されている。また、教材と関連した内容や活動を例示した「心のベンチ」のページによって、発展的で充実した学習が展開できるように工夫されている。</li> <li>○ 「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」等、多様な内容の教材が偏りなく配置されており、出所、出典が明確である。</li> </ul>				
2 組 織 関 と す 配 列 こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前半には学級づくりや人間関係の形成に関する内容、後半には振り返りや深化、発展を意識した内容項目や教材が配置され、学習効果の向上を図る工夫がされている。</li> <li>○ 各教材には主題名とその教材の価値に関わる導入の発問例を示すことで、ねらいが明確化され、児童が見通しを持って学習できるように配慮されている。</li> <li>○ 「いじめの防止」等、重要なテーマに関わる教材については、複数の教材が配置され、学級の状況に応じて関連的・発展的に扱うことができるように工夫されている。</li> <li>○ 各学年とも35点（1年生は34点）の主教材と「ふろく」として3～4点の教材が収められ、年間指導計画作成に際して幅広い選択ができるように配慮されている。</li> <li>○ 学校行事、他教科の学習内容、伝統的な行事の実施時期等との関係を考慮した教材配列になっている。また、地域教材の活用、開発にも配慮されている。</li> </ul>				
3 学 習 関 と す 指 導 こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 別冊の「道徳ノート」は、自分の考えや友達の考えを記入する欄が設けられており、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。</li> <li>○ 問題解決的な学習を想定して構成した教材や、体験的な学習を取り入れることが適切だと考えられる教材の後には「学習の手引き」が示されており、児童が興味を持って、主体的に学習に取り組むための工夫が見られる。</li> <li>○ ペアやグループでの学習形態が各所で示されており、児童の多様な個性を生かした学習が展開できるように配慮されている。また、「道徳ノート」の記述の蓄積により、児童の個性や能力に応じた成長の様子が把握できるようになっている。</li> <li>○ 他教科、領域の学習活動そのものを素材とした教材が開発、掲載されている。</li> <li>○ 巻頭のオリエンテーションのページに、学習の内容や学習方法が示されている。また、児童が活動する様子の写真やイラスト、図表が適切に配置されている。</li> </ul>				
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当該学年以上の漢字や固有名詞等の漢字には、全て振り仮名が付けられており、読みの抵抗が少なくなるように配慮されている。</li> <li>○ 教材の種類を示すアイコンや、6年間共通して登場するキャラクターの活用等、児童が親しみを持って学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 教科書体を使用し、読みやすさに対して配慮されている。また、学年に応じた適切な文字の大きさ、文字量となっている。</li> <li>○ A B判を採用することで、写真やイラストが大きく掲載されている。</li> <li>○ 製本はあじろ綴じを採用しており堅ろうである。また、軽量化した再生紙、植物油インキを使用するなど、環境への配慮が見られる。</li> </ul>				

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	208	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳	書 名
			光文		138 238 338 438 538 638	
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳で学習したことが日常生活で生かされ、また、日常生活から問いを見つけて道徳の学習へ返っていくというスパイラルでの学習がオリエンテーションのページで示され、児童の主体的な学習態度につながるように工夫されている。</li> <li>○ 現代的な課題の対応やいじめ防止に関する教材が各学年で設定されている。</li> <li>○ 言語活動や体験的な学習、問題解決的な学習を通して考える教材が設定されており、より深い学びを引き出し、学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 重点的な指導を必要とする「生命の尊さ」については、6年間の系統性に配慮し、学習の充実をより図ることができるように工夫されている。</li> <li>○ 著名人の話や実話、定番の読みものなど、多様な教材が用意され、内容もバランスよく配置されている。また、教材の出所、出典が明示されている。</li> </ul>					
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された全ての内容項目について、年間を通してバランスよく配列されている。</li> <li>○ ねらいが明確になるよう「内容項目別教材一覧」が設定されており、主たる内容項目と関連性のある内容項目が分かるように配慮されている。</li> <li>○ 重点的な指導を必要とする事柄について連続的に扱うことで、より効果が得られる教材を「重点主題」として設定し、取り扱いの工夫ができるように配慮されている。</li> <li>○ 付録教材が1年生で6点、2～6年生で5点ずつ用意され、各学校の実態に応じた指導ができるように配慮されている。</li> <li>○ 地域に根付く伝統や文化、行事、先人等、児童にとって身近なものも教材としている。また、どの地域においても活用できるよう工夫がなされている。</li> </ul>					
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターを通して様々な問い掛けを提示し、物事を多面的・多角的に考えられるように工夫されている。</li> <li>○ 教材の冒頭に発問を配置し、主題に関わる問題意識を高めたり、教材の内容に興味・関心を持たせたりするなど、学習への動機付けが図られるように配慮されている。</li> <li>○ 自己評価シートで児童が学びの振り返りができ、自己の生き方について考えを深めることができるように工夫されている。</li> <li>○ 世界や日本の文化遺産のコラムで社会科と関連付けたり、読みもの教材で特別活動と関連付けたりするなど、多様な学習が行えるように工夫されている。</li> <li>○ オリエンテーションのページでは学び方やノートの例が掲載されている。挿絵や写真が大きく、場面を想像しやすいように工夫されている。</li> </ul>					
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字は前学年までに学習した漢字の使用を基本とし、3年生までは全ての漢字に振り仮名を付け、児童が読みやすいように配慮されている。</li> <li>○ A4判よりも大きい紙面となっており、スペースが広く見やすく配慮されている。キャラクターやマークを取り入れ、児童が親しみを感じるように配慮されている。</li> <li>○ 活字の大きさや字体を教材によって工夫したり、落ち着きのある色彩で統一したりするなど、見やすい紙面となっている。</li> <li>○ マークやキャラクターの配置といった紙面構成が統一されており、児童が学習の流れをつかみやすい工夫がなされている。</li> <li>○ 印刷には植物油インキを使い、製本には針金を使用しないなど、環境への配慮がなされている。また、紙の厚みを抑えて軽量化が図られている。</li> </ul>					



種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳	書 名
			学研		1 3 9 2 3 9 3 3 9 4 3 9 5 3 9 6 3 9	
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「プラス思考」「未来志向」を備えた児童の育成を目指し、問題意識を生み出す仕掛け、活動の工夫、学びを広げるためのページ等、内容が工夫されている。</li> <li>○ いじめ防止につながる教材が多数用意されている。また、配列も直接的・間接的にアプローチができるようバランスが考えられ、複数時間で扱えるように配慮がなされている。</li> <li>○ 巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びを振り返るページを設定し、児童が1年間の成長を感じ、これからの生き方を考えられるように工夫されている。</li> <li>○ 〈深めよう〉〈つなげよう〉〈やってみよう〉〈広げよう〉の4種類の「学び方のページ」が設けられ、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。</li> <li>○ 「問い」が生まれる教材や読み継がれる教材、現代的な課題の取組を促す教材等、多様であり、バランスもよい。また、教材文の他に挿絵についても出所が明示されている。</li> </ul>					
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年部ごとに設定した重点テーマを系統的に配列し、2年間連続して学べるよう教材を配列する工夫がなされ、学習の効果が上がるように配慮されている。</li> <li>○ 1年間で学ぶ道徳の全体像を確認できる見開きページが設定されている。このページは、教材が内容項目によってまとめられ、ねらいも明示されている。</li> <li>○ 自立した人間として、他者と共によりよく生きるための「いのちの教育」を全学年の重点とし、その教材3点を連続して配列している。さらに、他の内容項目と関連させる配慮がなされている。</li> <li>○ 内容項目の数や分量は、バランスよく組織されている。また、1年生は34点、2～6年生は35点の教材が準備され、各学校の年間指導計画に適合しやすい配慮がなされている。</li> <li>○ 時期を考慮し、児童の生活に合わせた教材の配列がなされている。</li> </ul>					
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちの生活の中で起こり得る葛藤場面に対して、異なる複数の意見を提示して比較させるなど、多面的・多角的に考えさせる工夫がなされている。</li> <li>○ 表紙裏に見開き全面に写真と詩を掲載したり、様々な分野で活躍する人から学ぶ教材を設定したりするなど、児童の興味を大切に、主体的に学習が進むように配慮されている。</li> <li>○ 児童が考えを深め、自己を見つめるきっかけとなる問い掛けを教材後半に記載したり、考えを書き込むスペースを設けたりするなど、多様な考え方を引き出す工夫がなされている。</li> <li>○ 巻末に、全ての教材に対して他教科との関連が示されている。教科名に加え教科の内容も記載され、関連付けて指導しやすいように配慮されている。</li> <li>○ 挿絵は教材文ごとに適したイメージで描かれ、児童が場面を想起しやすい工夫がなされている。</li> </ul>					
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字・振り仮名は学年に応じた配慮がなされ、教材文は読みやすく改行するなど、表記、表現が適切である。</li> <li>○ 分かりやすいマークを採用し、児童が親しみやすい工夫がなされている。また、全ての教材が見開きで始まり、教材に集中できる工夫がなされている。</li> <li>○ A4判を採用しているため活字が大きく、字体も読みやすいものに統一されている。また、色彩も柔らかく落ち着いた。</li> <li>○ 教材文の読みやすさや場面の想像しやすさを考慮し、挿絵と写真の大きさや配置について工夫されている。</li> <li>○ リサイクル性の高いのりを使い、環境に配慮した紙・植物油インキを採用するなど、環境への配慮がなされている。</li> </ul>					

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 3 2	道 徳 1 4 0 1 4 1 2 4 0 2 4 1 3 4 0 3 4 1 4 4 0 4 4 1 5 4 0 5 4 1 6 4 0 6 4 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 名	みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせいのだうとく1 じぶんをみつめ、かんがえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う 小学生のだうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2 みんなで考え、話し合う 小学生のだうとく3 自分を見つめ、考える どうとくノート3 みんなで考え、話し合う 小学生のだうとく4 自分を見つめ、考える どうとくノート4 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳5 自分を見つめ、考える 道徳ノート5 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳6 自分を見つめ、考える 道徳ノート6
			廣あかつき				
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本冊と別冊の2冊で構成されており、併用することで人の生き方のよさや自分自身について考えを深め、道徳の目標が達成できよう工夫されている。</li> <li>○ いじめに向かわない態度の育成の基盤となる道徳性の育成を目指し、「人権」「いじめ防止」について、様々な角度から考察できる教材が各学年に掲載されている。</li> <li>○ スポーツ選手や歴史上の人物に関する教材、童話や漫画、感動教材等、多様な教材が取り上げられており、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が主体的に考えを深められるような教材、多様な指導法を工夫することのできるような教材等バランスよく精選されている。</li> <li>○ 多様な見方や考え方のある事象、多様な生き方等が描かれている教材を選定しており、内容の出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 関 連 す る 列 こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学年は場面絵を多くして視覚的に内容理解がしやすいもの、高学年になるにつれ抽象的な思考を促すような教材を増やし、考えを深められるように配慮されている。</li> <li>○ 「生命の尊さ」「親切、思いやり」「善悪の判断、自律、自由と責任」に関する教材を3点ずつ掲載し、指導の重点化が図れるようにしている。</li> <li>○ 別冊には学習の記録、体験活動の記録、話し合い活動の記録等のページがあり、各学校の実態に応じた年間指導計画に柔軟に対応できるように工夫されている。</li> <li>○ 教材は各学年の発達段階に適した長さになっており、別冊ノートの書き込み欄も3年生までは升目、4年生以上は罫線と、負担感を持たないように工夫されている。</li> <li>○ 児童の日常生活と関連する内容や現代的な課題に関する内容等、多様な教材が掲載されており、地域や児童の実態に応じて指導することができるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 関 連 す る 指 導 こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書くことを通して道徳的諸価値についての理解を深めるために、別冊ノートに毎時間自分の考えを書き込んでいけるように構成されている。</li> <li>○ 3年生以上の本冊に「学習の道すじ」が記載されており、児童が1時間の見通しを持って主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 別冊ノートは内容項目ごとにページが構成されており、児童が自分の考えを比較したり、成長を実感したりすることに役立つと共に、評価にも活用しやすくなっている。</li> <li>○ 本冊の「学習を広げる」には、関連する本や人物が紹介されており、他教科との関連を図ることができるように工夫されている。</li> <li>○ 挿絵全体が明るく鮮明で、人物の表情が豊かに描かれているため、児童が場面のイメージを広げる手助けとなっている。</li> </ul>						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当該学年の配当漢字を含む未習の漢字については、全てに振り仮名が付けられ、児童の読み取りに個人差が出ないように配慮されている。</li> <li>○ A B判を採用し、白を基調としたゆとりある紙面で、圧迫感がないように構成されている。挿絵が大きく、教材に魅力を感じることができるように工夫されている。</li> <li>○ 本冊と分冊ノートにそれぞれ対応するページが明記されており、効果的に使用できるように配慮されている。</li> <li>○ 本冊の背に厚みを取り、見返しを付けて強度を高めることで、分冊ノートを本冊巻末に収納できるように工夫されている。</li> <li>○ 環境への配慮から、印刷は植物油インキが使用され、本冊には発色の良い紙、分冊には鉛筆で書きやすい紙等、使用用途を踏まえた再生紙が用いられている。</li> </ul>						

3

3

